

杜の子つうしん

特定非営利活動法人

せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-40-7アルティマ101

TEL/FAX 022-375-3548 H P <http://senmori.org/>

2024年 秋号

2024年10月30日発行

能登を訪れて見たこと・気づいたこと

東北大学農学部1年 若生みりあ

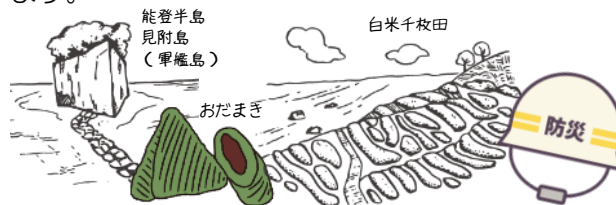
2024年1月1日16時10分。大災害によって、能登の方々の生活が全く変わってしまった時刻です。そしてきっと、私の「大学生活で大事にしたもの」も変わるきっかけになった時刻です。

私は大阪出身で、この春に進学で仙台に来ました。4月末から榴岡児童館でアルバイトとしてお世話になっています。大学では、ボランティア団体で能登半島などの災害救援と、東日本大震災の伝承に関わってきました。よく「何で大阪から仙台に来たの?」と聞かれますが、理由は色々あるので一言では言えません。その一つは、東日本大震災を経験した大学に行けば、いつか南海トラフ巨大地震で大阪が被害を受けた時に、東北での知見を生かせるのではと思ったことです。無事大学に合格し、のんびりしていたお正月に能登半島地震が起きました。テレビで能登の壊れた街並みや、被災地の大学受験を控える同い年の高校生を見て、普段めったに泣かないのに、涙が止まりませんでした。能登半島のために何かできればと思い、災害救援に取り組んでいます。

9月にサークルの仲間とともに私も能登で活動する機会を得ました。しかしまったく同じ時期に能登半島が豪雨に見舞われ、本来の予定を変更しながらの活動となりました。豪雨後、比較的安全な地域で地震による被害を視察しました。震災発生から8か月以上たっても復旧があまり進んでいない様子で、住宅街では生活している方がほぼいない印象を受けました。金沢で能登出身の方とお話ししましたが、ご自身の故郷が1年の間に2度も大きな災害を経験し、復旧の見通しも立たないことへのやるせなさが伝わってきました。「自分にできることをしたい」と思い石川県に入りましたが、自然の猛威に抗うことも、被災地の復旧を早

めることも、被災した方のお気持ちをすべてわかることも、自分の力では何もできないことを知らされました。

石川の方から聞いて、印象的だった言葉があります。「観光にいい場所がたくさんあるから次は旅行で来てほしい」「石川のおいしいものを食べて帰ってほしい」。どの町に行ってもこの言葉をかけられました。災害後の支援も必要としているけれど、「被災地」となった地元のことよりも、災害前から地元で続いている良いものを知ってほしいと思っている方が多いのではと感じました。大学生活でまた災害救援に関わる機会があれば良いなと考えていますが、活動する場所で災害前から「当たり前にあった良いもの」を、災害後も残し続けられるような支援をしたいと、能登に行ってから思っています。また、「当たり前にある良いもの」や「当たり前が続いてきた生活」が災害後も当たり前が続いていくためには、災害が起こる前からの備えも大切だと感じました。いま災害救援とともに取り組んでいる震災伝承を通して、私の地元のように大きな災害をほぼ経験していない地域でも、災害への備えを身近なものとするきっかけを作れたら良いなと考えています。



巻頭文「能登を訪れて見たこと・気づいたこと」若生みりあ	1
理事紹介	2
理事紹介・ライブ&フリートーク! 予告	3
杜の子まつりin仙台報告	4,5
児童館★NEWS	6
ママパパライン仙台	7
事務局より・ピックアップ	8

せんだい杜の子ども劇場
理事の紹介コーナー



ありさか きみえ
有坂 紀美江

わたしのモットー!
(座右の銘、信条)

「いきます。いって
らっしゃい。さよなら。
等々、人と別れる時」と
「写真を撮られる時」
は、ケンカしていても不
機嫌でも偽りであっても
いいから、必ず笑顔で。

子どものころから「熱しやすく冷めやすい」性格です。お陰で「好奇心」と「学習欲」だけは前期高齢者となった今でも衰え知らずです。涙もろく感動しがたりです。また、数字が好きで何かと分析しがたります。気は強いのですが、我を通すよりは「和をもって尊しとなす」の教えに従順だったりします。今は、せんだい杜のミッションを胸に携えながら、地域活動に勤しんでいます。また、ご縁があり、北九州で行われている「希望のまちプロジェクト」を応援しています。

特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場 理事

- ・出身 岩手県盛岡市生まれ。
- ・他団体、他組織などでの関わり、役職、委員など
 - ・東八幡丁町内会役員、東口芝公園愛護協力会役員、
 - ・福岡地区社会福祉協議会福祉委員、
 - ・仙台市地域防災リーダー（SBL）、みやぎの区民協議会理事
- ・主な経歴
 - ・東北学院大学法学部法律学科卒
 - ・会計事務所勤務経歴あり
 - ・福岡小学校図書事務勤務経歴あり

元気が取り柄の黒田達也と申します。57歳になりましたが、児童クラブの子ども達からは、「たつ兄（にい）」と呼んでもらっております。娘が二人おりますが、子ども達の為に何かできないかと、保育所では“父母の会”、小中学校では“PTA”、高校大学では“後援会”と、23年間“会長”として勤めさせて頂きました。とにかく子ども大好きオジサンです。



くろだ たつや
黒田 達也

わたしのモットー!
(座右の銘、信条)

知り合った人はとことん
大切にすること。をモットーに、
良かれ悪かれ友人と呼べる人は
沢山あります。
座右の銘としては、
“七転び八起き”ですかね。

特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場 理事

- ・出身 こてこての仙台生まれの仙台育ち
- ・他団体、他組織などでの関わり、役職、委員など
 - ・太白区上野山学区民体育振興会会長
 - ・東海大学宮城県後援会顧問、白鳳会副会長
 - ・上野山小学校“上小会（親児の会）”代表
 - ・山田中学校“おやじの会”代表
 - ・上野山小学校運営委員会副委員長
- ・特技、趣味
 - ・書道師範 ・焼きそば歴20年 ・野球
 - ・披露宴司会50回 ・釣り ・ゴルフ ・麻雀



おおくほ かなこ
大久保 佳奈子

わたしのモットー!
(座右の銘、信条)

なんとかなるでしょう!!

出たとこ勝負

孫と同じ日の10月1日に68歳になりました。うっそ!
と、自分でもビックリ。

でもね、元気に仕事ができることに感謝。人が好き、空が
好き、楽しんで生きてます。

夫・息子・嫁・孫2人・ネコ6人と1匹でにぎやかに暮ら
しています。

特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場 理事

- 出身 仙台市青葉区 (今の家)
- これまでの主な経歴
 - 尚絅短大保育課を卒業しエコールノワール幼稚園に5年仕事
をし、出産の為退職。2000年4月からクリストファ幼稚園
で就園前の支援クラスを1年間勤め、2011年新田児童館
開館と同時に勤め現在に至ります。
- 現在の仕事や活動状況
 - 新田児童館の「くぼんぬ」として日々頑張っています。
でも、15歳年をとったのは事実なんだなあ…と、つくづく…
- 特技、趣味
 - ソーセージに黒ビール 刺し身に日本酒
空に飛行機雲好きだなあ……

イベント開催予告

ファミリーで参加大歓迎! 定員200名

ライブ&フリートーキング! II

参加無料

~生まれたときから電子音に囲まれた現代の子どもたち、そして日々
子育てに奮闘するママパパへ “生の” 音楽 をもっと身近に届けたい! ~

前半に若手演奏家によるミニコンサートを、
後半は演奏者と来場者が一緒にフリートークを行います。

日時 2025年1月11日(土)
開場13:40 開演14:00(予定)

会場 エル・パーク仙台ギャラリーホール
(仙台三越定禅寺通り館 6階)

出演者 今後のチラシにて!

司会進行 田原さえ



Moderator
田原 さえ

クラシックの癒しをぜひ親子で♪

主催 一般社団法人ミュージックプロデュースMHKS
& 特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場



杜の子まつりin仙台を開催しました!

2024年9月14日(土)
10:00~16:00 会場:日立システムズホール仙台

参加者 延べ885名
(内スタッフ94名)



6月14日(土)に「杜の子まつりin仙台」を開催しました。

参加者数は全プログラムを合わせて885名。昨年より約300名多く、たくさんの親子に来場いただきました。遊びの広場では、ジュニアリーダーによる「あそびのブース」に加え、今年から復活した協力団体によるブース出展で計13ブースが親子を迎えました。遊びの広場が終わりに差し掛かるころ「おもちゃのオークシ

ョン」が始まりました。オークションは、あそび体験ブースで貯めた「あそびポイント」を使い、お目当てのおもちゃを競り落とす遊びです。白熱のオークションは多くの子どもたちでにぎわいました。(コロナ禍以前のかえっこバザールまでは復活できませんが…)芸術鑑賞の人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」は申込時点で満員御礼になる人気ぶりで、多くの親子が人形劇を楽しみました。



おもちゃのオークションの様子



あそびの様子



遊びの広場開始直前の受付



あそびの様子

遊びの広場 感想

参加者
373名

- 作って持って帰ってあそべる。ていうのがいいなって思いました。
- すごくたのしかった。
- 明日のどがかれるだろうなと思いました。楽しかったです。
- マンカラをはじめて知ってやったので、石もキレイなものもあって子供はたのしかったらしいです。
- Jrリーダーさんの声かけがすばらしく感動しました。
- 色々なけん玉があって楽しかった。
- 中2、小5の子どもと参加しましたがとても楽しんでいました。中2はジュニアリーダーなのでこんなことをしているのかと見れて良かったです。
- じゅんばんまちがつかかった(2歳児と母ふたり)何分まつかもわからず。
- おもちゃのオークションがポイント制だった為全てを回ったりできた。
- 初めてのオークション体験がとても楽しく参加できました。
- もっとしょうひんをふやしてほしい。

芸術鑑賞

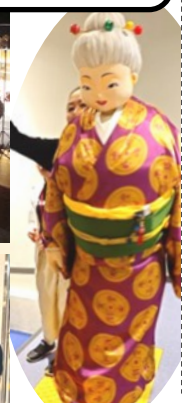
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 感想

参加者
398名

- おもしろくて楽しかった
- 途中まで怖かったけど、最後は楽しかった。
- 人形のうごきがすごかった
- ぜにてんどうのになぎょうげきはじめてみて楽しかった。
- おもしろかったです。自分もやってみたいと思いました。またみたいです。
- 銭天堂ワールドに入りこんでしまった。
- 一つ一つの動きが分かり易く、声も聞こえやすかったので楽しかったです。
- テレビで見るときとちがって、になぎょうげきだと人もになぎょうを動かすので、とてもたいへんで楽しかったです。
- 生の人形劇を子供達に見せてあげられる機会が少なくなってきました。大変楽しめましたありがとうございました。仙台でひとみ座さんが観られて幸せです。
- 人形が生き生きと動いていて、すごい技術だなあと思いました。子どもの付き添いでしたが、とても楽しかったです。
- 迫力のある演技でした また仙台に来てください。

- 舞台ならではの演出、見せ方の工夫がとても面白かった。黒子の方々の動きを見て「何の動き方や効果の為に今一人増えたんだろう…」と予測するのも楽しかった。自分の子供や自分自身も含め瞬間的なおもしろさを求めがちな現代だけどじっくり楽しむエンタテインメントにももっと触れたいと改めて感じた。

榴岡児童館子どもスタッフが劇団へプレゼントを渡しました



終演後は紅子さんが来場者をお見送り♪



人形劇団ひとみ座さまより、色紙をいただきました。



バックヤードツアー 感想

参加者
20名

- ちょっとこわかったけどたのしかった。
- ふつうは見れないところがみれて楽しかった。
- いろんなへやがあった。
- みたことない場所をたくさんみれて楽しかったです。また、見学したいと思った。
- ぜにてんどうを、人のてだけで、くみたてるところはみななかったけど、人とのてで、かたづけるのが、すごかったです。がくやがひろくてすごかったです。

- ふたいのうらがわや、楽屋などを見れてうれしかった。初めて見た親子ルームは、小さい子も大きな声を出したりしても心配する必要がないからいいと思った。
- ふだん入れない特別な場所に入ることができて楽しかった。ふたいに関係のある人しか入ることのできない楽屋やシャワー室を見ることができて楽しかった。入ることができる機会があったら、また見学してみたい。

児童館★NEWS



榴岡児童館



☆榴岡児童館まつり☆

10月12日は秋晴れの中、子どもスタッフが半年間という時間をかけて練った祭りの骨子が見事に開花した児童館まつりとなりました♥

長かったコロナ期が明け、午前中から家族連れがドット！訪れ、5年ぶりに子どもたちの勢いと和やかに歓談する大人同士の交流が復活しました。参加総数は午前と午後を併せて400名、榴岡日赤奉仕団や民生委員児童委員協議会、児童クラブ保護者会そしてTOTTO THE CLUBのメンバー等を入れたスタッフ数は65名となりました。急遽、ジュニアリーダーによる「もぐらたたき」も加わり、児童館通貨「つつじー」の流通も不況知らずの賑わいとなりました。地域諸団体をはじめ皆が集うって本当にいいものですね

☆子どもスタッフの活躍☆

春に募集し初めの一歩から築き上げた子スタの力に大感動です♥計画から実行そしてコーディネーターとしての役割を備え、見事にやり遂げた原動力はどこから来るのだろうか。人数が揃わず時間が掛かってもやり続け、児童館からの注文にも自ら工夫し成し遂げた力は、子ども同士で思いを共感し、信頼関係を築き、可能性を信じることから生まれたのではないか。難関もあったはずなのに、チャレンジし続けたことが結果を生み出したのだと今では確信します。1週間後に行われた榴岡小PTA主催の「榴魂祭」(オファーあり)でもその力が発揮されました。彼らの姿を見つめ、その力を認める地域社会の存在も子ども力を伸ばす源となっています。

新田児童館



みんなで頑張った長い夏休みもなんとか無事にすぎ、虫の声にぎやかな秋が来ました。9月21日、5年ぶりに開催できた「児童館まつり」は雨にもかかわらず来館者195名、3回に分かれてゆったり楽しんでいただきました。スタッフも小学生、児童クラブ保護者、ドーナッツさん、民児協さん、中高生ボランティアみんなで51名、お客様として校長先生、教頭先生、町内会長さんなど11名と、みんなで盛り上げて楽しい1日でした。やっぱり大人も子どもも一緒になってワイワイできることはつくづくいいなあ…。10月15日の秋休みには児童館の畑でさつまいも掘りをしました。数は少ないものの、とっても立派なおイモが取れました。焼きイモかな…天ぷらかな…大学イモかな…。さあこれから音楽の秋、食欲の秋のイベントが待っています。中学生の職場体験も3校来ます。2学期になり、小学生はきっと大人になっていきます。そんな成長を感じながら職員もチームでステップupしたいと思います。



はい、ママパライン仙台です

11/24(日)、12/1(日)、12/8(日)

電話受け手ボランティア募集&養成講座のご案内

ママパライン仙台は現在電話受け手が不足しています。今年は電話受け手ボランティアの募集に力を入れ、同時に受け手の養成講座を行います。養成講座は受け手ボランティア希望者だけでなく、子育て支援に関心のある方の聴講

も可能です。同送の専用チラシをご覧ください、ぜひお知り合いの方にもお知らせ願います。

詳細及び受講申込みについては、専用チラシまたは下記のQRコードからご覧ください。直接せん社の事務局への問合せもOKです。

講座の詳細は同封のチラシをぜひご覧ください



申込フォーム

外部講座を受講した受け手の感想

不登校を理解するPartⅡ ～「育てにくさ」と「育ちにくさ」と…～ 主催:NPO法人子どもの村東北

宮城県は全国でもトップレベルに不登校生徒が多い県であるのは周知のこと。不登校が増加し続ける要因としては家庭の変化、親子のパワーバランスが偏っている等原因を特定することは難しいとされているそうです。他国から豊かな、自由な、平等、平和な国とされている日本において、なぜこんなに育てづらさや育ちづらさを抱えてしまったのか?を考える時間を持てたことは良かったと思います。希薄な心の裏側にできた自分を大切にする、縦型の家庭から横型の家庭、父らしさ母らしさ不在の文化を顧みるのも必要だと思われました。しかし新しく作り上げられた文化で、相手の立場を考えず関係を持たない生き方は大人にとって過ごしやすいかもしれないが子どもには過ごしにくい、育ちにくいことも理解できました。違う視点で学べるのは嬉しいことで、機会があればまた外部講座に参加したいと思います。S.R

今回受講したのは、不登校を理解する「育てにくさ」と「育ちにくさ」のタイトルに興味をもったからです。「育てにくさ」親側から子どもに対してどんな所でそう感じるのか?また子どもは自分の親の元でどう育ちにくいと感じるのか?そのような話が聞けると期待しました。話の内容は私が思っていたのとは違ってましたが、講師の想いは伝わりました。子ども達に対して「人と関わりをもって対人関係を築いて行く事」「経験をする事」の大事さを伝えており私も共感しました。また、聴く側の受け取り方によって話し手側の意図が違って伝わる場合もあると思いました。それには、聴く側がある程度知識や情報を得て参加したほうが、理解は深まると感じました。これは、ママパパの受け手にも同じ事が言えると思いました。N.M

希薄な心の日本文化がもたらした問題点の中より、特に《自立を問う》というところで鍵が現れました。『自立と依存は逆のようであるが同じこと』…??『真の自立とは相互扶助しあえる関係性があったこそ』と教わり…私は、ここを探求していく必要あり、と思いました。そして、全世界が新時代へと急速に向かい続けていく中、対人関係の変化の加速も止められないであろう。それゆえ、だからこそ、人として結びつきあって生かしあって、互いの生きる力となって、この変化を楽しんでいけたらなと思いました。講師の先生は、『家庭の中に解決していける力が有る』と語られました。素敵ですね!学んだことを心に入れて、関わり、自立した大人の一員でありたいと思いました。K.Y

サポート&ご協力ありがとうございました!



(敬称略・順不同)

- ママパライン■ 受け手の皆さん スーパーバイザー
- 正会員■ (更新) 照井和子 他1名 (9月ゆうちょ振込にて納入いただいた正会員様、お名前が未記入となっております。お心当たりの方は事務局までご一報頂ければ幸いです。)
- 支援会員■ (入会) 児玉陽子 (更新) 長田千恵子 熊谷知穂 斎藤礼子
関根由紀 名取満智恵 星野直子 横井ひろみ
- 寄付■ 角田三知代
- 図書寄贈■ 北田基子

■杜の子まつりin仙台■ 仙台市生涯学習支援センター 仙台市内のジュニアリーダー ホシヤマ珈琲店 仙台白百合女子大学心理福祉学科 劇団ふたり 松陵けん玉教室 花遊びブチ紫の会 AromaとHerbの会 pino ぼーだれすアートくらぶBAC仙台 子育て支援・任意団体いくさぼ NPO法人東北の造形作家を支援する会 (略称: SOAT) MIYAの工作室 ポンクラーズ 榴岡児童館子どもスタッフ 東北大学・東北福祉大学・宮城大学・仙台大学・白百合学院女子大学・尚絅大学・仙台赤門短期大学の学生ボランティア皆さん

2024年度 第19回 定期総会

- ★日時: 12月15日(日) 14:00~
- ★会場: 日立システムズホール仙台
3階エッグホール

※正会員の方は議決権があります。
12月初旬に資料一式を送付いたします。
*支援会員の皆様もどうぞご出席ください。

図書を寄贈いただきました!

当法人顧問の北田基子様より、大野りあな著「ここにあったよ 自由と幸せ」を頂きました。日本人のパパと外国人のママをもつ7歳の著者が描く自由の絵。絵本は2児童館(本館&サテライト室)の図書コーナーにあります。

【出版幼冬舎ルネッサンスHP「内容紹介」より】
ダンスを踊れること、野球ができること、好きな本を買うこと、勉強ができること、それはぜーんぶ しあわせ
ある日、ママの国で女の子の人がスカーフから髪の毛がはみ出ただけで、命を落としてしまったことを知ります。「悲しんでいるママの笑顔を取り戻したい」と自由の絵を描くことに。
“自由”を探して、旅に出かけたりりあなちゃんが見つけたものとは……?



子育て応援ダイヤル
★ママパライン仙台★
☎022-773-9140
毎週金曜日10時~16時



ピックアップ情報

~宮城県教育委員会・仙台市教育委員会共催~
第9回教育の未来を支える

ネットワークフォーラム

「オトナのつながりと子どもの育ちと」
みんなでつながり立場を超えて一緒に子どもの未来を!

- ◆日時: 11月30日(土) 13時~16時(12時半開場)
- 基調講演: 松崎和佳子氏 塩竈市教育委員会学校教育課長
- パネリスト: 石垣政裕、岡本浩行、久保木潤子、齋藤純子 コメンテーター: 松崎和佳子
- コーディネーター: 野澤令照
- ◆会場: 宮城野区文化センターパトナシアター
- ◆参加無料
- ◆問合せ: 田辺泰宏 宮城教育大学教育支援コーディネーター
TEL022-214-3611 FAX022-214-3751
メール yasuhiro.tanabe.e3@staff.miyakyo-u.ac.jp

発行: 特定非営利活動法人 **せんだい杜の子ども劇場**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-40-7 アルティマ 101
TEL/FAX 022-375-3548
HP <http://senmori.org/>
E-mail office@senmori.org

